

## 研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： エージェント技術に基づく大規模合意形成支援システムの創成
2. 研究代表者名及び主たる研究参加者名（研究機関名・職名は研究参加期間終了時点）

研究代表者

伊藤 孝行（京都大学大学院情報学研究科 教授）

主たる共同研究者

松尾 徳朗（東京都立産業技術大学院大学産業技術研究科 教授）

藤田 桂英（東京農工大学大学院工学研究院 准教授）

福田 直樹（静岡大学大学院情報学領域 准教授）

白松 俊（名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授）

### 3. 事後評価結果

○評点：

A+ 非常に優れている
-------------

○総合評価コメント：

エージェントを用いてリアルタイムにオンライン議論の見える化や活性化を実現する大規模合意形成支援システムを開発した。名古屋市次期総合計画などを例にオンラインで市民からの意見を集約する社会実験から、人間による仲介がどのように行われているかについての議論データを分析し、自然言語処理による討論構造の自動抽出法を考案した。次に、オンラインの英語での議論に拡張して、対立的な議論が見える化する方法、エージェントが介入して議論を活性化する方法を提案するとともに、議論の論理モデルを理論的に示し、人工知能国際会議 PRICAI2019 で最優秀論文賞を受賞した。特に、倫理的・法的・社会的な視点から社会的に受け容れられるエージェントによる介入とは何かについても統制実験を行った。オンライン空間と物理空間の議論を同時に行えるクラウド上で動くシステムを構築して、国内ミーティング、国際会議、浜松市、アフガニスタン・カブール市などでも利用できることを確認した。この間、研究代表者自らが起業し、事業化を進めた。以上、本研究課題は倫理的・法的・社会的な課題も考慮し、当初の目標を超える優れた成果をあげた。インターネット上の議論・合意形成支援システムやAIによるファシリテーション支援などの事業展開が進むことを期待する。